他府県公開試合・名古屋決戦！大会規定

・本大会はハンディスポーツチャンバラ公式ルールを用いて原則公式ルールの規定に基づいて行われる。

・本大会の団体戦は先鋒・次鋒・中堅・副将・大将に分かれ、チーム同士での総当たり戦にて行われる。

（先鋒より順に総当たり戦を行い、勝ち抜いたチームが勝者となる）

※人数が規定に達しない場合は参加人数に合わせた団体戦を行う事とする。

・本大会の団体戦は、原則的に一定指定位置で１分1本勝負を３戦行い、２勝したものが勝者となる。

※１本づつの同着で時間切れの場合は30秒一本先取での延長戦を行う。それでも勝敗が決しない場合は引き分けとなり、両チーム共に次の対戦者による試合となる。

・大将戦も引き分け、対戦成績が同着の場合は、各チームの代表１名による。

1分1本勝負の決定戦が行われる。それでも決着がつかない場合は疲労による身体的負荷を避けるために審判による判定にて勝者を決定する。

・本大会の団体戦は公式ルールに則り、下記を採用して行われる。

●「スタンダード（立位可能者）部門」

競技は、原則「ポイント方式」にて行う。

「ポイント方式」とは、面、胴、突きが入れば１本となる。小手、足に有効打が決まれば２０ポイント加算され、合計６０ポイント取得すれば、合わせ技１本となる。

●「ウイルチェア（車椅子利用者）部門」

　競技は、原則「ゲット ザ フラッグ方式」にて行う。

　「ゲット ザ フラッグ方式」とは、車椅子前部両側に小旗を装着し、先にその小旗を打ち落とした者が勝者となる。

　介助者は、車椅子利用者の指示及び車椅子利用者の意思をくみとった上、介助者自身の意思で動くことができる。

・本大会の団体戦は歩行可能者どうし又は車椅子使用者どうしの試合は長剣にて行い、歩行可能者と車椅子使用者の試合は歩行可能者は短剣、車椅子使用者は長剣を用いて行う事とする。

・本大会の団体戦は、原則的に一定指定位置で3分勝負を３戦用いて行う。

・本大会の合戦は新導入の公式ルールに則り、下記を採用して行われる。

●「コンペティション（合戦）部門」

障害の程度を分けることなく行う競技方式のことをいう。

対戦方式も混合で、ウイルチェア部門の対戦相手は「ゲット ザ フラッグ方式」にて行い、スタンダード部門及びサウンド部門の対戦相手は「アーム　ゲット　ザ　フラッグ方式」にて行う。

「アーム　ゲット　ザ　フラッグ方式」とは基本的には刀を持つ反対の上腕に小　旗を装着し先にその小旗を撃ち落としたものが勝者となる。

・本大会の合戦は歩行可能者どうし又は車椅子使用者どうしの試合は長剣にて行い、歩行可能者と車椅子使用者の試合は歩行可能者は短剣、車椅子使用者は長剣を用いて行う事とする。

・本大会は、すべての対戦で防具の面を必ず使用する。

・本大会の団体戦及び合戦は新導入の下記、新部門を取り入れて行う。

●「ゲット　ザ　ソード（重度身体障害者）部門」

　自らの意思で攻撃出来ない選手（重度身体障害者等）は刀を握る事が可能な選手は刀を握り（不可能な選手は手や車椅子等に軽く固定する事は可とする）１分間の対戦時間内に刀を落とさずに守りきると勝者となる。

　対戦相手が歩行可能者又は軽度な車椅子利用者の場合は相手の刀を攻撃する事しかできない。刀以外の所に意図的に打突を加えた場合は反則負けとなる。